

読下し文

予習史料①読下し

文久元年辛酉十二月十一日、庄屋役仰せ付けられ、且同廿日、苗字御免仰せ蒙り候歎ひ到来扣、并に戌三月内祝記録

予習史料②読下し

文久元年辛酉十二月十日、御役所従り御差紙にて、明十一日罷り出で候様仰せ下され候

但し、大橋平右衛門同様の事

一 十一日出勤、御役所に於いて庄屋役仰せ付けられ、則ち御請書指し出し、印形下され、御陣内御部屋方廻勤いたす

大橋平右衛門同道、この方へ引取り、矩の通り一吸三肴にて一盃出す。且、来かり候もの、その人に応じ同様出す

演習史料②読下し

廿日朝、麻上下着、御使者の間え召し出され、御代官様上檀の間え御出座、御次の間え元々池田泰蔵様、御加判小磯錠介様、少々下の坐にて御用人吉川重蔵様御出席、御代官様御直に仰せ渡され候、御書にて下し置かれ候写(後略)

演習史料③読下し

その方儀、御本丸御普請御入用の内え上納金いたすに付き、御褒美として悴代迄、苗字御免仰せ付けらる。右は内紀伊守殿御差図の趣、松平出雲守申し渡すに付き、申し渡す

西十二月 大左馬太郎

演習史料④読下し

差し上げ申す一札の事

私儀、先般御本丸御普請御入用の内え上納金仕り候に付き、悴代迄苗字御免仰せ付けられ候旨、内紀伊守様御差図の趣、松平出雲守様仰せ渡され候段仰せ渡され、冥加至極、有り難き仕合せに存じ奉り候、依て御請証文差し上げ申す処、件の如し

(後略)

演習史料⑤読下し

御請証文相済み、御役所引取り、御台所始め御長屋残らず廻勤いたし、会所え引取り、月番仁左衛門より村方え申し触れ候、その後同勤中え廻勤、帰宅いたす